

6年制・4年制

1 年次

薬剤師・研究者としての自覚を持ち、薬学の基礎知識を修得



薬学の基礎学習

化学や生物学など自然科学を通じて薬学の基礎を学びます。

薬の成り立ち理解

薬の構造や人体への影響を体系的に理解します。

薬剤師・薬学専門家への意識形成

早期体験学習を通じて薬剤師・薬学専門家の社会的役割や倫理観を学び、卒業後の意識を育てます。

学びの土台構築

将来を意識し、学問への興味と責任感を育成します。

6年制・4年制

2 年次

薬学専門科目が本格化 実習のスタート

専門科目の開始

薬学専門科目が本格的に始まる重要な時期です。

学生実習の開始

実験器具の使用と安全管理を学び、学生実習がスタート。

知識と技術の深化

薬の作用や体内動態に関する知識を深め、技術力を高める段階です。



6年制

3 年次

薬学の臨床的な科目が増え、医療薬学実習も開始

臨床薬学科目の拡充

3年次では臨床的な薬学科目が増え、実践的な知識を深めます。

薬剤師の役割理解

医療チームの一員として薬剤師の役割や患者中心医療を学びます。

医療実習開始

医療薬学実習では調剤技術やコミュニケーション力を習得。

準備と成長の機会

知識を医療現場で活かすための準備期間であり成長の場です。



4年制

3 年次

研究室に配属され多岐にわたる実習・研究

研究室配属と専門選択

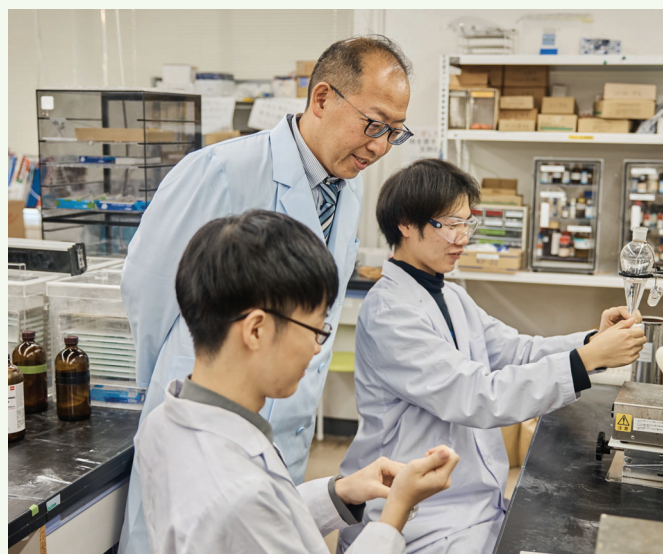
学生は興味や進路に応じて研究室を選び、専門的な研究活動を始めます。

実験計画と科学的思考

指導教員のもとで実験計画を立て、データ収集・解析を通して科学的思考を養います。

インターンシップと実務体験

就職希望の業種などでインターンシップを通じて実務体験をします。



6年制

4 年次

共用試験合格を目指し、薬剤師の実務実習の対策開始



共用試験の重要性

共用試験は全国的な試験で、実務実習への重要なステップです。学生は合格を目指して学びます。

薬学全般の基礎学力の復習

これまでの薬学知識を総合的に復習し、基礎学力の復習を行います。

実務実習の準備

実務実習に向けて、医療現場でのマナーやコミュニケーションスキルを学びます。

実践力強化の期間

4年次は実務実習に向けての重要な準備期間です。共用試験対策と実習に集中します。

4年制

4 年次

それぞれの進路に向けたプログラムを履行



就職活動とキャリア支援

企業説明会や面接対策などのキャリア支援を利用し就職活動を進めます。

卒業研究と卒業論文執筆

薬学の集大成として、卒業研究と卒業論文作成に集中します。

専門家としての成長

問題解決力や論理的思考力が向上し、薬学の専門家としての資質が高まります。

6年制

5 年次

5ヵ月にわたる薬局・病院での実務実習や、卒業研究に取り組む

実務実習の実施

学生は薬局や病院で約5か月間、薬剤師の基本業務を実践的に学びます。処方箋確認や調剤、服薬指導を経験します。

患者とのコミュニケーション

患者に薬の説明や副作用の指導を行い、実務に必要な対話スキルを身につけます。

卒業研究の実施

研究テーマ設定から実験、データ解析、論文作成まで経験し、研究者としての素養を養います。

実務力と研究力の向上

5年次は薬剤師としての実務力と研究力を高める集中した学びの期間です。



6年制

6 年次

6年間の集大成としての卒業研究と国家試験対策

卒業研究の仕上げ

学生は研究成果をまとめ発表し、論理的思考と発表力を養います。

国家試験対策

薬学総合演習は6年間の学びの集大成。模擬試験や過去問題演習で知識を深め、国家試験の合格を目指します。

